

苗木生産流れを把握する (社内専用)

苗木生産工程把握の必要性

- ・苗木品質の低下が著しい
- ・ヘキサチューブ設置箇所においても、粗悪苗導入による枯死が見られる
- ・枯死原因の特定のため、正しい生産過程を知り、枯死現場の調査にあたる必要がある

メモ

Q. どうして床替えするの？

- 植栽・運搬効率を考えたコンパクトな根系
- 細根の充実
- 植栽の効率
- 植栽後の活着

生産流れ

- ～ 苗床で苗木を育てる。
- ～ 床替えを行う。伸び過ぎた直根を切断し、細根の充実を図る
- 以降 ～ の繰り返し。要求される苗木サイズになるまで繰り返す

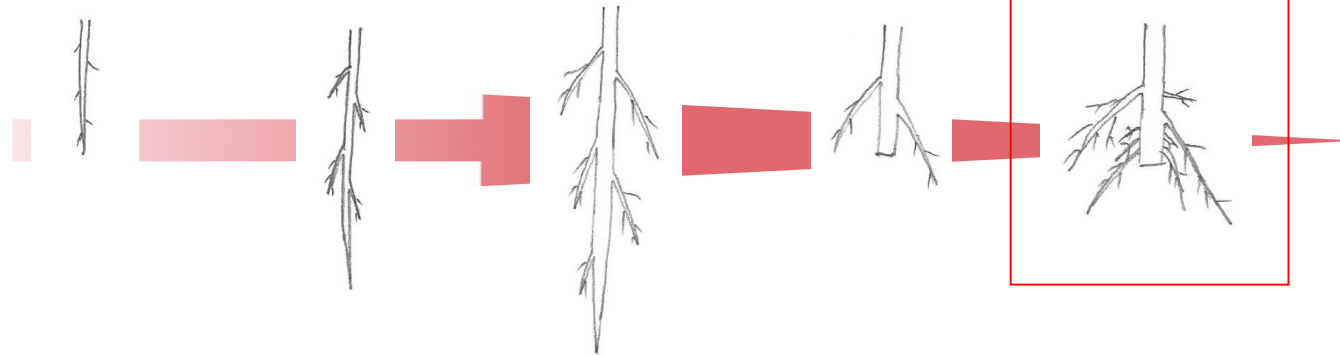
\*トロ箱への播種 苗床への移植する初期工程は割愛

出荷適期

- ・の床替2～3ヶ月後が適期である
- ・細根充実が重要

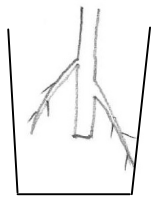
地上部  
⇕  
地下部

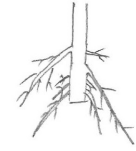
優良苗



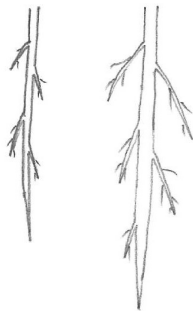
播種直後	播種半年後	播種1年後	床替時	床替2～3ヵ月後
		苗木の成長に従い 根も深く地中に降りる	伸びすぎた根の整理 床替えによる植替え	細根充実 出荷準備完了

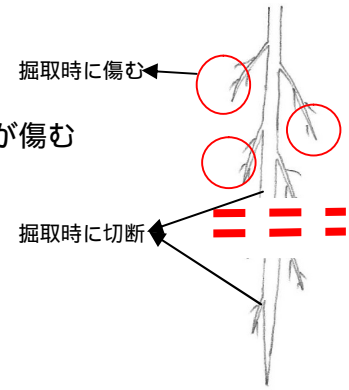
粗悪苗事例

事例 1	工程 1 の段階で出荷される苗木	
	 <p>根の無い ポット苗</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直根を切って直ぐに出荷された苗木</li> <li>・床替え前なので、細根の充実が無い</li> <li>・左図の様に仕立てるとポット苗と見分けがつかない</li> <li>・顧客現場での細根充実に期待する他力本願な苗</li> <li>・枯死、枯れ下がりが確実な不良苗である</li> </ul>



床替により  
細根が充実した苗  
優良苗として出荷可能

事例 2	工程 2 の段階で出荷される苗木	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・床替えが成されない苗木</li> <li>・ある程度の樹高のものを掘り取って出荷</li> <li>・直根が走っているため、掘り取りは困難</li> <li>・根を切断して掘り取られることが多い</li> <li>・床替えによる細根充実工程もなく、掘り取り時に根が傷む</li> <li>・商品としては無価値</li> <li>・生きた根が少なく、植栽後の枯死・故損が確実な不良苗</li> </ul>



\* 広葉樹苗に多い(裸苗、ポット苗とも)  
\* スギ、ヒノキ苗は比較的まともに生産されている